

令和2年度 第1回 宇治市子ども・子育て会議 会議録

<日 時> 令和2年7月28日(火) 14:00~15:30

<場 所> 宇治市生涯学習センター 第2ホール

<出席者> (委員:22人出席/24人中)

石田委員、笠原委員、工藤委員、倉橋委員、竹内委員、原委員、平井委員、藤井委員、松村委員、村田委員、上西(千)委員、岸委員、北川委員、長澤委員、堀(明)委員、迫委員、杉本委員、松井(明)委員、浅妻委員、安藤委員、寺田委員、松井(敏)委員
(事務局:16人)

教育部 伊賀教育部長、上道教育部副部長、林口教育支援センター長、
栗田教育総務課長、吉田学校教育課長、福山教育支援課長
福祉子ども部 星川福祉子ども部長、澤田福祉子ども部副部長兼地域福祉課長、
岡部保育支援課長、倉辻保健推進課長、雲丹亀子ども福祉課長、
須原障害福祉課長、山本保育支援課計画係長、
次郎内子ども福祉課子育て企画係長、
佐々木子ども福祉課子育て企画係主任、
加藤子ども福祉課子育て企画係主事

(傍聴者) 4人

<会議内容>

1 開会

- ・事務局より、「宇治市子ども・子育て会議の会議の公開に関する要項」に基づいて、公開で会議を進めていくことを確認。
- ・事務局より、会議の成立確認報告

2 委嘱状交付

- ・山本市長より委嘱状交付

3 市長挨拶

- ・山本市長より挨拶

4 委員紹介

- ・配布資料の確認
- ・委員紹介
- ・事務局紹介

5 議事

(1) 会議の運営について

「宇治市子ども・子育て会議」について

- ・事務局より、資料2「宇治市子ども・子育て会議」について」に基づき説明が行われた。

会長及び副会長の選任について

- ・委員の互選により、会長に安藤委員、副会長に迫委員が選出された。

会議の公開について

- ・事務局より、資料3「宇治市子ども・子育て会議の会議の公開に関する要項」に基づき説明が行われた。

(2)「宇治市子ども・子育て支援事業計画」における令和2年度の主な取り組み状況について

- ・事務局より、資料4「宇治市子ども・子育て支援事業計画における令和2年度の主な取り組み状況について」に基づき説明が行われた。

【委員】いくつか質問します。資料教育・保育事業関係 1.認定こども園への移行に示している、1号認定、2号認定、3号認定について、各号がどのような意味なのか教えていただきたいです。また、資料教育・保育事業関係 3.まなび支援員の配置について、「学習指導員を市独自で配置し、学習を支援します」とありますが、これは実際の授業に入られて行っているのか、または放課後の補充学習が行われているのか等、どのような支援を行っているか教えていただきたいです。そして、資料教育・保育事業関係 4.小中学校児童生徒のタブレット端末整備で、「GIGAスクール構想」に基づき、児童1人1台のタブレット端末を整備するとありますが、いつまでに1人1台整備される予定でしょうか。続いて、資料その他 1.教育相談事業のリニューアルについて、記載されている相談は実際にどのような専門家の方が相談を実施しているのか、または職員の方が相談を行うのかを教えてください。最後に、資料その他 3.生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業については、市が運営しているのか、NPO法人に委託されて運営しているのか教えてください。

【事務局】認定こども園への移行について、のぞみこども園が保育園から幼保連携型認定こども園に移行しております。その中で、1号認定、2号認定、3号認定に分かれておりますのは、通常の保育施設ですと3歳未満を3号認定、3歳以上の保育要件のお子さんは2号認定としており、残りの1号認定は保育要件のない通常の幼稚園のお子さんとしています。この認定こども園は、幼稚園と保育園が一体となったものですので、1号認定は幼稚園の枠とし、2号、3号認定は保育園の枠としているところです。

【事務局】まなび支援員は、基本的に学校の授業に、担任の先生と一緒に入り、子どもの様子を見ながら、授業についていけているかの確認等、授業中における児童生徒の支援や放課後の補習学習等を行っています。タブレット端末については、2学期中に準備し、3学期には運用を開始したいと思っています。

【委員】学習指導員は、教員免許をお持ちの方でしょうか。

【事務局】特に教員免許を必要とせず、学生の方も参加していただいています。

【事務局】教育相談事業についてですが、メールの相談は、市の職員でとりわけ退職した校長等、指導主事が対応しています。

【事務局】生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業についてですが、1か所目は宇治市社会福祉協議会に委託しています。2か所目は特定非営利活動法人 志塾フリースクールきょうとに委託する予定です。

【委員】新規の主な取り組みについては、第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画に基づいていると思いますが、新しい事業計画のどの体系にあてはまるのかお示しいただけるとわかりやすくなると思います。

【事務局】資料をご用意させていただきます。

【委員】資料その他 6.奨学金返還支援事業の対象者が、期間の定めのない(またはそれに準ずる条件)労働契約を締結されているとなつていますが、新型コロナウイルスの影響で労働契約等を結んでいない人こそが対象になるのではないのでしょうか。求人が減っているなど、状況が時代によって異なるので、そのような人も対象になればいいなと思いました。

【事務局】今年度予算の査定の時期、新型コロナウイルスが蔓延する前に策定したものです。目的として、定住促進も踏まえていますので、このような条件となつています。一方で、コロナウイルスが蔓延し、状況が変化してきていますので、奨学金事業とは別に、支援していく事業を考えていく必要はあると思います。

(3) 令和元年度における「宇治市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況等について

・事務局より、資料5-1「令和元年度「宇治市子ども・子育て支援事業計画」の内部評価結果について」、資料5-2「具体的施策に対する内部評価結果一覧表(30・元年度比較)」、資料5-3「令和元年度「宇治市子ども・子育て支援事業計画」具体的施策評価シート」に基づき説明が行われた。

【委員】内部評価についてE評価がありますが、実施できていない事情等があれば教えていただきたいです。

【事務局】まず、資料5-3の122頁の上段にある休日保育事業の実施について、土曜日は運営していますが、休日・日曜日の実施ができていない状況です。前回のアンケート調査でも休日の実施をしてほしい市民の要望もありましたので、民間の事業者等と協議も行っているところです。一方で、財源の確保が課題となっています。利用があつてはじめての加算という国の制度なので、保育士、調理師を日曜日に雇用していても、利用がないと加算分がもらえないという制度上の課題があることを認識しています。これに対して宇治市でも必要な財源の要望を行うとともに、なにができるかを検討しているところです。併せて、保育士の確保の問題があります。新型コロナウイルスの影響もあつて、確保がより難しくなっており、課題の整理が必要になっています。引き続き、現場の意見も聞きながら解決策を図っていききたいと思います。

6 その他

・事務局より、内部評価結果、具体的施策評価シートについての意見等提出方法について及び、今年度のスケジュールについて説明。

【会長】最後に全体を通してのご意見などがあればお願いします。

【委員】テーマによっては、小さなグループワークをしてもよかったのではないのでしょうか。今日は、そのようなテーマがなかったのですが、みなさんせっかく集まっておられるので、参加者が発言できるような会議だといいいのではないのでしょうか。

【事務局】過去にグループワークを行った時もありましたので、新型コロナウイルス感染症拡大防止を行いながら、意見が出やすい場づくりとして次回以降は参考にさせていただきたいと思います。

【委員】柔軟剤等のおいを嗅ぐと呼吸困難等になるにおいの過敏症について、新生児訪問や夏場の配達で来られた方等の香料が強く、お母さんがしんどかったという声がありました。特に、赤ちゃんや子ども

はにおいが強いことなどに対して訴えられないので、宇治市全体で香りについて、気を付けていかないといけないと思いました。

【委員】新型コロナウイルスが蔓延し、学校が長期休校になりました。障害のある子どもは、休校となると行き場がなかったです。一方、健常者の人たちは家で過ごすことができると思いますが、障害のある子どもたちは毎日でかけるところがない等、お母さんたちも大変な状況です。仕事されているお母さんも多く、親も子どももストレスがたまって、虐待などの問題が起きてしまうくらい大変な時です。そこで、自粛している間にどういう過ごし方をしていたかの調査をとるのはどうでしょうか。アンケート等で実態をつかむことで、第2波が来たときに対策等がとれるのではないのでしょうか。

【事務局】障害のあるお子さんのことについては、各事業所の状況をうかがっています。緊急事態宣言後、自粛される事例も聞いておりました。一方で、事業者が長期間自粛をすると、利用者の負担になるという声も聞いていますので、事業者に問い合わせをさせていただきながら、対応していきたいと思います。

【事務局】小中学校で取り組んでいる状況ですが、6月1日から学校開始にともなって、小中学生にアンケートを実施しています。不安がないか、体調はどうか、休校中の過ごし方等、簡単なアンケートを取り、休校中の子どもたちの状況を把握し、教育相談につなげていくような状況です。支援が必要な人に支援をしていくという状況です。

【事務局】全体として、新型コロナウイルスが流行しており、虐待が3割増えている等、各家庭において影響がでている状況だと思います。関係機関と連携し、行政としてどう活かし、連携していくか等を検討していきたいと思います。

【委員】宇治市として様々な取り組みがあることを改めて共感しています。私には1人子どもがおり、自粛中は保育園や仕事に行けなかったので、今日の会議では親の気持ちを代弁していただく意見もあったと思いました。委員のみなさんの様々な経験等を教えていただき考えながら、この2年間を過ごしていきたいと思いました。宇治市は、小さい子の支援はとても手厚いですが、思春期以降のお子さんについてはこれからだと思うので、一緒に考えていきたいと思いました。

【委員】私には2人の子どもがいますが、自粛期間中は子どもにどのように接したらいいのか不安を感じていました。ただ、夫が早く帰ってきたり、テレワークになったりと、家族で過ごす時間は増えたので、子どもたちは喜んでいました。ただ、家にずっといると、外部の方と接する機会が減ってしまいました。子どもにとってはいろんな人と接することが大事だと思うので、いつ終息するかわからない新型コロナウイルスと付き合いながら何かしていけたらなと思います。このような場でない、意見を言える機会がないのでこれからもよろしくお願いします。

【委員】私は昨年出産をし、子どもが一人います。5年間保育士をしていたので、大丈夫だと思っていたのですが、子どもを実際に産むと悩みました。その時、近所の方に相談することで、心が救われたことがあります。この経験から、子育ては自分一人ではできないことを実感しましたので、地域で子育てを支えていくことの大切さを感じているところです。地域で子育てをする事業を一緒に考えていきたいです。

7 閉会